

集落活動センターの推進の方向性について

第1回高知県中山間総合対策本部会議 (H28.05.27 (金))

- 中山間対策の柱として小さな拠点（集落活動センター）の取り組みを平成24年から進めてきた。今年4月1日現在、県内30ヶ所で立ち上がり、地域、地域で住民主体の取り組みが進んでいる。
- 2,500を超える集落が存在する中山間地域にこそ、農業や林業といった第一次産業はもとより、食や観光など本県の強みがあり、この地域の再生なくしては高知県の持続的な発展はなし得ない。これまで続けてきた集落活動センターの取り組みをさらに面的に拡大するとともに、産業面での取り組み等と連動させることで持続性を高めていくことが重要。
- このため本県では、集落活動センターを将来的に130ヶ所開設するという目標を掲げるとともに、産業振興計画に基づく「一次産業を中心とした産業成長戦略」「地域資源を生かしたビジネス確立のための地域アクションプラン」と「集落活動センターを核とした集落の維持・再生の仕組みづくり」の三層構造の政策群により、中山間地域の継続的な発展に向けて取り組んでいるところ。
- 本年度はこれらの取り組みをさらに加速化していくこととし、以下の3点を徹底していく。
 - ① 県民すなわち市町村民と一番近い市町村とのさらなる連携協調のもと、センターの着実な立ち上げを支援。(平成31年度末の開設数：80箇所)
 - ② 産業振興計画の成長戦略や地域アクションプラン等との連携をより強く意識した取り組みを進めるとともに、既に立ち上がった集落活動センター等の経済活動の拡充及びロールモデルの確立・普及を支援。
 - ③ これらの取り組みの下支えとして、集落活動センターの人材育成・確保や、取り組みの拡充・強化に向けたセンター間の相互連携を推進
- それぞれの具体的な取り組みとしては、
 - ① 集落活動センターの着実な立ち上げについては、
 - ・ 関係部局等会議や推進チーム等において、各市町村の「総合戦略」に位置付けられた集落活動センターや、新たな候補地等について、その進捗の確認を徹底。

- ② 集落活動センターの経済活動の拡充やロールモデルの確立・普及等については、
- ・ 経済活動拡充の補助金活用や、ロールモデル支援チーム等による具体的な地区の絞り込み、確立に向けた個別の支援を実施。
 - ・ その進捗については、関係部局等会議において、ロールモデル手順書に基づき確認。
- ③ 取り組みの拡充・強化に向けた集落活動センター間の相互連携等については、
- ・ 経営管理力向上のための研修を行うとともに、集落活動センター連絡協議会の立ち上げにより運営組織のネットワークを構築し、事例共有や情報交換によるセンターの活動のさらなる充実に支援。

集落活動センターの推進の方向性について

県民すなわち市町村民と一番近い、市町村とのさらなる連携協調のもと、センターの着実な立ち上げを支援。

(平成31年度末の開設数：80ヶ所)

①集落活動センターの着実な立ち上げ

- ・各市町村の「総合戦略」に位置付けられた集落活動センターや、新たな候補地について、進捗確認を徹底。



それぞれの取り組みを下支え・活性化



持続可能な
中山間地域の
実現

産業振興計画の成長戦略や地域アクションプラン等との連携をより強く意識した取り組みを進めるとともに、既に立ち上がった集落活動センター等の経済活動の拡充及びロールモデルの確立・普及を支援。

②集落活動センターの経済活動の拡充やロールモデルの確立・普及等

- ・経済活動拡充の補助金活用や、ロールモデル支援チーム等による具体的な地区の絞り込み、確立支援。
- ・ロールモデル手順書に基づき進捗を確認。



それぞれの取り組みを下支え・活性化

集落活動センターの人材育成・確保や、取り組みの拡充・強化に向けたセンター間の相互連携を推進。

③取り組みの拡充・強化に向けた集落活動センター間の相互連携等

- ・経営管理力研修の実施や、集落活動センター連絡協議会の立ち上げ。

高知県の強みは中山間地域にこそある

農業や林業といった第一次産業はもとより、観光の面でも貴重な資源を有するなど、**中山間地域にこそ高知県の強み**があります。
中山間地域の振興なくして県勢浮揚はなし得ないものと考えています。

- 面積人口**
 - ・全34市町村が中山間地域を有する (27市町村は全域)
 - ・県面積の約93% ・県人口の約41%
- 出生率**
 - ・四万十町1.68、土佐町1.61、芸西村1.56 (高知市1.35)
- 農業産出額**
 - ・中山間地域が約8割を占める (全国は約4割)
- 自然、歴史や文化**
 - ・全国に誇れる豊かな自然、歴史や文化の宝庫

仁淀川



土佐あかうし

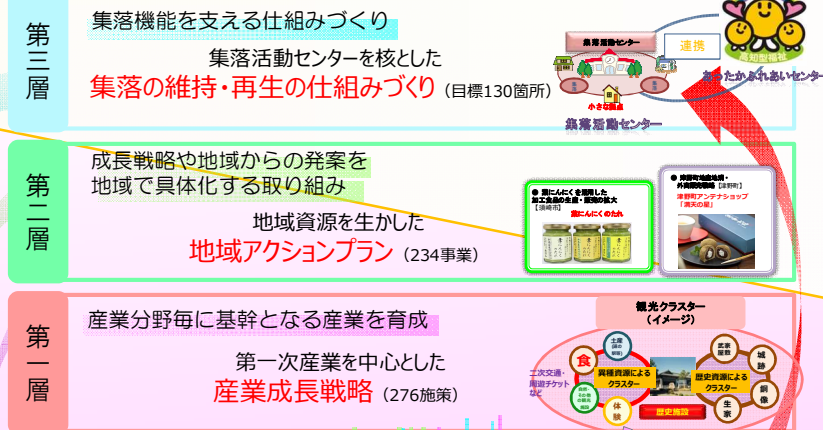
岩崎弥太郎生家



戦略の方向性

産業面では、産業振興計画の「成長戦略」を第一層、「地域アクションプラン」の取り組みを第二層、さらには、こうした取り組みが届きにくい小規模な集落などを対象にした「集落活動センター」の取り組みを第三層とした、**三層構造の政策群で県内をあまねくカバーし、しっかりと各層の取り組みを連携させ、ステップアップしていくことで、中山間地域の持続的な発展を目指しています。**

展開イメージ



第一層から第三層までの取り組みにより、あまねく県内をカバー

各層の取り組みを連携させ、ステップアップ

持続可能な中山間地域の実現